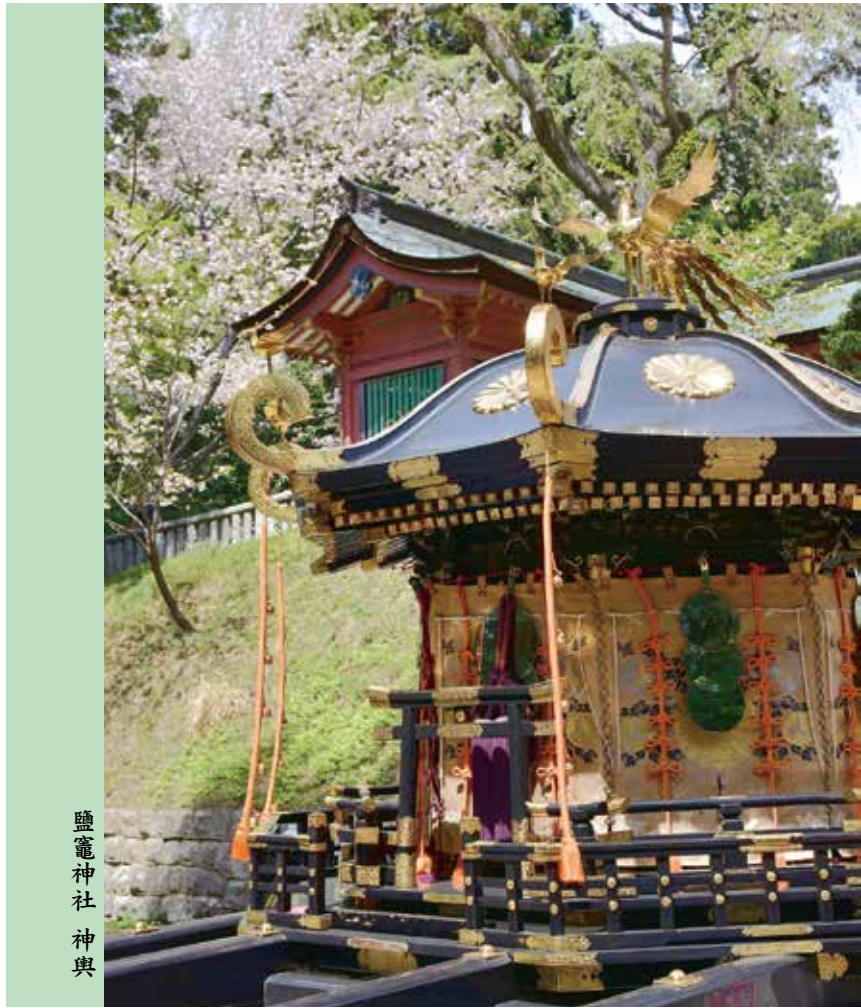


鹽竈十福



鹽竈神社 神輿

発行所 〒985-1810 塩竈市一森山一番一号

志波彦神社 社務所

電話 〇二二-三六七-一六一(代)

FAX 〇二二-三六五-五五三〇

<http://www.shiogamajinja.jp/>



三月に入り、春を実感する日も多くなってきました。

ようやく福寿草も咲き、陽を浴びた黄の花色は寒さの厳しかった冬を忘れさせてくれる。寒さ厳しき冬の風物詩として、大寒褌が取り上げられることは多い。しかし、身体には厳しい冬の褌行も心は意外と明るく充実感や達成感に満ちているのだ。日に日に暖かくなるこの時期の褌は、それがどんなに寒気の強い日のものであっても精神的にはつらくない。最もつらく心が折れそうになるのは秋の褌。明日はもっと寒くなる、明後日は更に寒くなる。そんな冬へとむかう頃の褌はつらい。四季を通じた褌は、人生の浮き沈みの時の心の有り様にも通じるものである。先が見通せず状況が悪化一方である時にこそ今がどん底と腹を決め、これからは良くなるだけだと希望を持てば耐え抜く覚悟もできてくる。コロナ感染拡大の波状攻撃も実に辛いものだったが、いよいよ出口が見えて来た。そんな矢先のウクライナでの戦争の惨禍。子供の泣き声や涙の映像には胸塞ぐ思いとなる。家族を失い、家や街を破壊された人々にかける言葉をもち得ていない。彼の国の人々に心穏やかな春の日が来ることを共に祈りたい。

第七十四回奉獻乾海苔品評会

一月十一日、第七十四回奉獻乾海苔品評会が開催されました。

当社の産業振興大祭協賛会が主催する品評会は、宮城県産海苔の品質の改善と生産者の意向向上を念願して戦後の混乱の中、昭和二十三年に第一回を開催して以来、関係各機関の格別なる御指導と御協力並びに生産者各位の御敬神の至情により、本年度で第七十四回を数える事となりました。

今期は、台風等の影響もなく概ね順調に生育し、高品質の乾海苔が生産されました。

今年度は、台風等の影響もなく概ね順調に生育し、高品質の乾海苔が生産されました。



本年は、県内各地より一〇〇点が出品され、宮城県漁業協同組合、関係自治体の担当者により厳正な審査が行われ、優賞（宮城県知事賞）に星兵喜殿、準優賞（塩竈市長賞）に菊地幹彦殿のお二人以下、七十四名が入賞を果たしました。

当日は、鹽竈神社左右宮で感謝祭が斎行され、祭典後、優賞・準優賞者へ表彰が執り行われました。

出品された乾海苔は、祭務所に展示され、参拝者は宮城県が誇る「みちのく寒流のり」の色・艶・香りを堪能していました。

入賞者 (敬称略)

優賞(宮城県知事賞)

松ヶ浜地区 星 兵喜

準優賞(塩竈市長賞)

仙南(亘理) 菊地 幹彦

志等賞(東松島市長賞ほか)

仙南(亘理) 木村 清一

代ヶ崎浜地区 佐藤 勘二

代ヶ崎浜地区 石森 圭太

東宮浜地区 名村 忠之

要害地区 梶田 利一

要害地区 遠藤 力

式等賞(全国漁業協同組合連合会長賞ほか)

矢本 津田 大

宮戸西部 尾形 文秀

仙南(亘理) 津田 雅彦

仙南(亘理) 穴戸 敏浩

松ヶ浜地区 大町 昭

菖蒲田浜地区 齋藤 陽東

東宮浜地区 星 長一

東宮浜地区 瀨戸 正一

技術賞(東北海苔問屋協同組合理事長賞ほか)

矢本 三浦 一郎

宮戸西部 山内 良裕

宮戸西部 小野 真義

代ヶ崎浜地区 齋藤 吉勝

東宮浜地区 大石 顕

参等賞

(アイサン工業(株)賞ほか)

塩釜市浦戸 内海 健靖

矢本 三浦 義孝

鳴瀬 櫻井 健太

石巻湾 手代木 千

石巻湾 熊谷 義宏

仙南(亘理) 中井 忠

仙南(亘理) 木村 宏

菖蒲田浜地区 星 一夫

菖蒲田浜地区 佐藤 充

菖蒲田浜地区 伊丹 幸一

代ヶ崎浜地区 坂本 寿

代ヶ崎浜地区 相澤 栄喜

要害地区 津軽 圭一

要害地区 佐藤 優

四等賞

(株)サンエイ海苔賞ほか)

相澤 武一

手代木 浩二

鹿野 拓洋

伊藤 和光

小野 仙一

相沢 仁

門馬 猛

鈴木 隆之

星 美智也

我妻 貞俊

佐藤 俊勝

要害地区

要害地区

要害地区

要害地区

要害地区

矢本 相澤 裕太

矢本 相澤 太

宮戸西部 鈴木 光博

宮戸西部 小野 裕俊

石巻湾 近藤 正昭

石巻地区 千葉 勝

宮戸 石田 信英

宮戸 櫻井 勝

宮戸 門馬 康成

宮戸 阿部 信弘

宮戸 星 博

松ヶ浜地区 寺澤 善公

花浜浜地区 遠藤 純一

花浜浜地区 鈴木 信悦

吉田浜地区 沼田 一幸

代ヶ崎浜地区 赤間 竹晴

東宮浜地区 鈴木 寿昭

仙台 秋葉 吉夫

産業功労賞

代ヶ崎浜地区 津軽 圭一

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

ほか九名

なお、例年生産者の手により御皇室に献上されます優賞・準優賞の乾海苔は、前回同様コロナ禍において郵送での献上となりました。二月十五日、宮内庁へ郵送し、十七日に賢所、天皇皇后両陛下、上皇皇后両陛下、皇嗣秋篠宮同妃両殿下、常陸宮同妃両殿下に献上されました。

節分祭

二月三日、節分祭が斎行されました。

特設舞台からの豆撒きはコロナ禍の中、実施は見送られました。

世話人が代表して参列し、二一三名の年男年女の厄災消除、家内安全、商売繁盛など祈願し、拝殿において宮司による奉幣の儀、追儺の儀が執り行われました。

帆手祭斎行

三月十日、塩竈に春を告げる帆手祭が斎行されました。コロナ禍の中、三度目の境内巡幸となりました。



責任役員 就任奉告祭

三月二十日に当社の責任役員の任期が満了したことに伴い、新たに役員が選任されました。

三月二十四日に就任奉告祭が鹽竈神社別宮にて斎行され、宮司より委嘱状が交付されました。

志波彦神社 責任役員

阿部勘九郎 (重任)

佐浦 弘一 (重任)

鈴木 雄一 (重任)

渡會 邦彦 (重任)

阿部 仁 (重任)



神龍社に真榊奉納

菅原正敏・美彌子ご夫妻(塩竈市白菊町)より神龍社へ真榊一対が奉納されました。

二月二十三日に奉納奉告祭が斎行され、宮司より感謝状と記念品が贈呈されました。



養成所通信

第七十七回卒業式

三月二十五日、卒業式が挙行されました。三名の卒業生は、父兄や御来賓の方々を始め講師・在所生が見守る中、式に臨んでいました。

○卒業生並びに進路

及川 周

國學院大學

狩野 瑞希

志波彦神社

鹽竈神社

松峯 孝成

愛宕神社(仙台市)



消防部分訓練実施

例年文化財防火デーに伴い、各関係団体参加のもと消防訓練を実施してまいりましたが、昨年に続き中止となりました。

そこで二月二十八日、三月一日の両日、神社職員を対象に消防部分訓練が実施されました。

参加職員は大規模地震や火災発生時での対応を始め、避難誘導における留意事項を再確認し、消火器や可搬式消防ポンプを使用した初期消火訓練に取り組みました。



祭事暦 (四月から六月まで)	毎月	一日 朔 日 祭	六日 御釜神社月次祭	十日 鹽竈神社月次祭	二十九日 志波彦神社月次祭	四月 二十四日 鹽竈神社花まつり 二十九日 昭 和 祭	五月 七日 御神田御田植祭 八日 氏子崇敬会春季大祭 十日 鹽竈ザクラの日祈願祭	六月 三十日 夏越大祓式	国家安泰 五穀豊穣 家内安全	安産祈願 海上安全 大漁満足
-------------------	----	----------	------------	------------	---------------	-----------------------------------	---	-----------------	----------------------	----------------------

参拝記録

令和三年
十二月
十三日 大崎市・熊野神社氏子総代
二十三日 國學院大學指定実習Ⅱ受講者
令和四年
一月
三日 仙台市・宮城縣護國神社 田中直彦権宮司
六日 陸上自衛隊多賀城駐屯地 第二十二即応機動連隊長 兼多賀城駐屯地司令 石井伸幸一等陸佐 以下隊員十名

十一日 愛媛県松山市・織田 祐吾氏
十四日 立正佼成会 仙台教会長 近藤雅則氏 以下三名
十六日 岩沼市・竹駒神社 村田守広宮司
十八日 責任役員・総代会同会
十九日 宮城県神道青年協議会 「大寒禊研修会」参加者二十名
二十四日 八戸芽生会 八名

文芸欄

デジタルの世に乗り遅れ山笑ふ
稜線のかすかな赤味春浅し
固茹での玉子の輝や春浅し
下萌や堰に弾ける水の音
故郷の風のにほひや若布干す
映画にもなつた小説小正月
轉れりキッチンカーのパイプ椅子
原子炉に追はれし家族猫の恋
木の芽張るワインコルクの音高し
春告げる振り時計のリズムかな

今田 須美子
上田 由美子
大野 みよ子
大友 セツノ
齋藤 豊子
佐藤 悦子
菅原 和子
横田 みち子
今野 紀美子
及川 源作

結婚
おめでとう
いざいざ

二月
登米市 日野 幸太
仙台市 相原 有希
岩沼市 高橋 要
石巻市 高橋由季子
亘理郡 穴戸 勇一
塩竈市 會津 有華
黒川郡 小川 透
気仙沼市 吉田 千尋 (敬称略)

銅板奉納者芳名

令和三年
十二月
沖繩県 窪田 剛
ほか一〇二名
一月
福岡県 広瀬 烈
ほか一七二名
二月
愛知県 村木 雄二
ほか六十七名 (敬称略)

人事異動

昇級
三月十日付
神職身分二級
権禰宜 浅野 満昭

新任
一月二十一日付
社務員 伊藤 晶子

四月一日付
出仕 狩野 瑞季
巫女見習 吉田 文奈
" 大沼 れい
" 菅田 楓
" 古堅 紀香

退職
三月十五日付
巫女 佐藤 千颯

三月三十日付
権禰宜 菊池 重忠
巫女 高橋 美侑
" 櫻井 香菜子
" 鹿沼 綾乃

赤巻忍

新年度を迎え、皆様の益々の活躍をお祈りします。(慶)